

CAT[®] CLUB

2021
NO.
113



お客様見聞録 >> File 14 株式会社アルバ建設

職人気質とICT活用で、
飛躍を目指す。

CAT[®]

Team Caterpillar

Technician



新潟営業所に勤務する涌井俊は、人懐っこい笑顔が印象的なメカニック。名前に同じ文字を持つJリーガー・中村俊輔選手に憧れ、小学4年生から大学時代までサッカーに打ち込み、時には部長として、時にはゲームキャプテンとして、チームメイトに声を掛け、まとめ役を担ってきた。「就職を機に、何か新しいことにチャレンジしてみたいと思っていたところ、キャタピラーから大学に募集があり、思い切ってエントリーしました」機械整備の経験はゼロ。工具の名前も知らないまま飛び込んだという涌井だが、物おじしない前向きな性格とサッカーを通して鍛えた粘り強さで知識をどんどん吸収し、プロフェッショナルとして成長の道を歩んでいる。

キャタピラーのショベルやブルドーザのことは、工事現場や災害復旧のニュースなどで知っていましたが、入社するまでメカニックとは縁の遠い生活を送ってきたため、新人研修と配属後の現場教育を通して1から学びました。

メカニックには職人気質の気難しい人が多いんだろうなと思っていましたが、とても親しみやすい雰囲気、みんなで力を合わせてやっていこうというチームワークが感じられました。もちろん、機械と向き合うときには、新人といえども仕事のクオリティに徹底してこだわるプロフェッショナルリズムが求められます。

普段は主にショップメカニックとして、工場に持ち込まれた車両の修理やオーバーホール、出荷前の組立・点検、車検整備などを担当していますが、特定自主検査の資格を取得してからは出張点検やトラブルシューティングに伺う機会も増えました。

お客様と接するときには、笑顔、あいさつ、そして丁寧なコミュニケーションを大切にしています。

先輩達に比べてスキルや経験が足りない分、お客様と笑顔で向き合っ、機械の症状をしっかりと聞き取り、こちらからも対処法や修理に掛かる時間の目安などをお伝えすることで、安心をお届けできればと思っています。

現場でのトラブルシューティングは、自分1人で不具合の原因を突き止め、解決への道筋を付けていかなければいけないので重い責任を感じる一方で、仕事をやり遂げたときには大きな達成感があります。慣れるまでは大変でしたが、場数を踏むことで知識が身に付き、プロとして成長していく自分を実感するのが楽しくなっています。

キャタピラーには、定期的なテクニカルセミナーやメカニックコンテスト、お互いの経験談やノウハウをインターネット上で共有し合えるシステムなど、メカニックのキャリアアップを後押ししてくれる環境が整っています。学べるチャンスを逃さないようにして自分を磨き、笑顔だけでなく技術でもお客様に大きな安心をお届けできるメカニックを目指していきます。

「笑顔と技術で安心をお届けできるメカニックを目指していきます」



日本キャタピラー
新潟営業所

涌井 俊
Shun Wakui

LET'S DO THE WORK.™

Technology Showcase



スイスの自転車ファンを結ぶ バイクパークの建設を担った Catマシニング。

スイスのベルン州にある村オーベルリートでは、アクティブなレジャーを堪能できるバイクパークの建設が最終段階を迎えている。同国の自転車ブランドThomasのCEOであるThomas Binzingerの発案によって、プロジェクトがスタートしたこの公園は、サイクルスポーツを通じて、さまざまな人々の出会いを生み出すハブ(中心)として設計されている。自転車愛するすべての人をつなぐ場所、その建設に8台のCatマシニングが活躍した。

スイスの首都ベルンの旧市街の南西に約30,000m²の敷地面積を持つスイスバイクパークは、「ダートパーク」「クロストレーニングセクション」「テクニカルプレイグラウンド」の3つの主要ゾーンで構成されている。

ビギナーから上級者、競技アスリートまで幅広いサイクリストに対応できるように構築されたコースには、流れるようなループ、トリックジャンプ台、ロックガーデンとスイッチバックのあるテクニカルトレイル、ドロップ、ノースショア、ポンプトラックなど、さまざまなライドスタイルを堪能できる設計アイデアが散りばめられている。

さらに、自転車の体験講座、更衣室、セミナースペースなどを備えた約2,000m²の近代的な施設も有し、2019年10月のオープン後は、全国から詰め掛けた自転車ファンの出会いと交流の場と

なっている。

2021年夏には第2フェーズとしてデジタルシステム(デジタルカメラや測定・記録装置)を装着する工事がスタート。このシステムが完成すれば、利用者は自分の走行ルートを表示し、ジャンプの速度や距離、高さを測定できるようになる。

また、アプリを通じてパークのさまざまな情報を共有し、プロのプレイヤーと競走したり、グループでタイムトライアルを行って記録を比較し合ったりすることも可能になる。

スポーツと最新のテクノロジーを融合させたこのバイクパークを建設するために、CatレンタルストアAvesco Rentは、302.5から336まで各クラスの油圧ショベルにCS66Bソイルコンパクターを加えた8台のレンタル機を提供した。

Avesco Rentのマーケティングコーディネー

タであるStephan Mabicaは、プロジェクトは2段階に分けて実行されたと語る。

「第1段階は、樹木を取り除き、大量の土砂を動かしてパーク全体を造成する必要があったため、大型油圧ショベルを投入しました。第2段階では、バイクパーク専門の建設会社Velosolutionsが各コースの締固めや仕上げの成形、電気システムの設置、マーキング作業を担当しました」

機械をレンタルで調達するという決定は、プロ

ジェクトを短期間に行うためのもので、実際、工完了までに要した期間はわずか6ヵ月だった。

Stephanは続ける。「Velosolutions社は、バイクパークからバイクパークへと移動して工事を行うため、機械を自社保有していません。代わりにバイクパークの施工に長けたオペレータを大勢抱えているので、借りるという選択は理にかなっています。そして彼らはキャタピラーの製品の信頼性や精確性、快適な

運転性などを高く買ってくれています」

Velosolutions社でオペレータを務めるJonas Hermann氏はCatマシンを選択する理由を「バイクパークの施工には、固く転圧された土を設計通りに成形する掘削力と精確性の両方が要求されます」と語る。一方、同社で建設と計画を担当するSeverin Schindler氏は、「Avesco Rentのサポートはつねに迅速です。機械の追加に迫られたときにはわずか2日で調達し、突発的なトラブルに見舞われた際には2時間でメカニックを現場に派遣してくれました」と評価する。「スイスバイクパークの建設は、素晴らしい仕事でした。Velosolutions社をパートナーとしてサポートできることは私たちの誇りです」(Stephan Mabica)





大きな手振りを交えて仕事や社員への思いを熱心に話される渡辺政由社長(左)と、言葉の一つひとつを選びながら冷静な口調で話される政光専務(右)。お二人の好対照なキャラクターが印象的でした。



株式会社アルバ建設

代表者：渡辺 政由
 本社所在地：新潟県新潟市東区岡山1279番地
 設立：2012年
 従業員数：36名
 事業内容：土木工事、とび・土工工事

とつても難度の高い作業です。それを機械が自動で見事にこなしてくれる。これだったら基本操作さえ身に付ければ、誰でもベテランに劣らない作業が行えるだろうと確信し、導入に踏み切りました」(渡辺政由社長)

アルバ建設様は地元で先頭に立ってICT施工へと舵を切りましたが、当時はICT施工のメリットを良く知らない発注者も多かったため、受注した仕事の中でデモンストレーション的にICT施工を実施することで、利便性をアピールしたそうです。

根っからの職人肌で70歳を迎えた現在も毎日のように現場に出ているという社長を専務としてサポートしているのが、ご息の政光専務。学生時代には美術を学び、各国を歴訪していましたが、お父様からの願いを受けて家業に就かれました。大学卒業後は一時、広告代理店に勤務していたこともあり、ICTの魅力を実感して新規のお客様を開拓する広報マンとしても力を発揮されています。機械購入の決裁も政光専務に一任されており、次世代油圧ショベル320がリリースされた翌年の2018年から4台を増強、取材にお邪魔したときにも納車されたばかりの320が阿賀野川分田地区の河道掘削工事に投入されており、さらに日本キャタピラーの新潟営業所ではもう1台が点検整備を終えて納車を待っていました。

強気に設備投資を続けるアルバ建設様の躍進の秘密は何なのか。会社の強みを社長に伺うと、とても謙虚なお答えが返ってきました。

「これが強みだと偉そうに言えることは何もありません。ただ、作業が終わったときに、110%できたと自分自身に合格点をあげられるような仕事を心掛けて欲しい」という意識付けを社員に対し

ICTという翼で時代の風に乗る、アルバトロス。

翼と風を巧みに利用して長距離を飛翔する渡り鳥、アルバトロス。アルバ建設様の社名は、この鳥の名に因んで名付けられました。設立から10年にも満たない新しい会社ですが、新潟県内でも前例がほとんどなかった時期にICT施工をいち早く導入し、上昇気流に乗るように業績を右肩上がりに伸ばされています。「会社を設立して事業を加速するに当たり、他社にはないセールスポイントを模索している中でキャタピラーの営業さんからICT施工を導入する提案を受けました。『新人オペレータでもベテランに負けないスピードと精度で作業できます』と聞き、最初はそんなはずないじゃないかと思いましたが、D3ブルドーザで実際に3D施工を体験してみて驚かされました。たとえば、堤防の法肩をカーブさせながらブルドーザで切っていく作業は熟練オペレータに

職人氣質とICT活用で、飛躍を目指す。

アルバ建設様は、西に信濃川、東に阿賀野川、2つの大河川に挟まれた新潟市東区を拠点に事業を展開しています。もともとご実家は冠婚葬祭用の引き菓子などを作る和菓子屋を営んでいましたが渡辺政由社長のお父様の代に砂利採取業に転業し、やがて土木工事にも携わるように。2012年より社名も新たに、他社に先駆けてICT施工の積極的な導入をスタート。ご息の政光専務と二人三脚で組織をけん引し、業績を着々と伸ばしています。

お客様

見聞録

File 14

株式会社アルバ建設





国道49阿賀野バイパスの盛土整形を3Dマシンコントロールで行う次世代油圧ショベル320。現場のすぐ下では遺跡の発掘調査も行われていました。

で行っています。一人ひとりのオペレータがプロとして満足できる仕事をする事、その積み重ねがお客様の満足度の向上につながり、会社の成長へとつながっていくのだと考えています」

自ら現場の陣頭に立って範を示し、社員のプライドと志気を引き上げる社長と、お父様が現場仕事に専念できるよう後方からマネジメント面を支えながら、お客様開拓も担われる専務。お二人の絶妙なコンビネーションこそ、アルバ建設様の原動力だと言えそうです。

Catマシンのフィーリングが体に染み付いている。

確かな施工力が評判を呼び、取材時にも7、8箇所の現場を抱えておられたアルバ建設様。お忙しい中にもかかわらず、社長ご自身が案内してくださったのは、太平洋側(福島県いわき市)と日本海側(新潟市)を結ぶ主要幹線道路、国道49阿賀野バイパスの施工現場。アルバ建設様はその16工区(1.5km)を担当されています。現場に到着すると、視界いっぱい広がる田園をまっすぐ貫くように築かれた路体盛土の上で、320が稼働していました。「当社のオペレータは皆、キャタピラーの機械に慣れてしまっているというのもあるのでしょうかけれど、『Cat製品は乗りやすくて肩が凝らない』というのが共通した評価です。私自身、長年現場で働く中で他社の機械を使ったこともあります。細かい作業を行うときの操作フィーリングが一番しっくりきます。ユーザーの声が開発にしっかりフィードバックされ、使いやすさに落とし込まれているのだと思います。『キャタピラーはさすが、わかっているな』というモノづくりの機微ですね」(渡辺政由社長)



「燃費が良くなっていることにも驚きました」と、320の魅力を語ってくれたオペレータの小熊秀俊様。



また、現場でオペレータを務められていた小熊秀俊様も「320は、Catショベルの卓越した基本性能を受け継ぎながら、多くの魅力がプラスされた機械だ」という評価をくださいました。「運転シートが衝撃を吸収する作りになっていて乗り心地が格段に違うなと感じたのが、最初に乗ったときの印象です。3年前に掘削整地工事で3D施工を初めて体験しましたが、ほぼ違和感な



社屋に隣接した駐機場に置かれた901C2とD3K LGP。



日本キャタピラー 新潟営業所の出荷ヤードで出荷を待つ320。車両のサイドには6号機を示すナンバーリングが振られています。



現場取材にも立ち会ってくださった渡辺政由社長(中央)。*左は日本キャタピラー 新潟営業所の鈴木セールス、右は近藤部品サービスセールス

施工事例をコツコツと重ねて、地元にICT施工のタネをまく。

他社に先行してICT施工の成果を着実に積み上げているアルバ建設様。しかし、ICT施工の比率はまだ全体の4割程度で、今後はもっと増やしていきたいと政光専務は語ります。「ICT施工の普及は、現場の省力化や高効率化に大きな効果があるだけでなく、建設業界のイメージを塗り替えるきっかけにもなるだろうと期待しています。若い労働人口が減少していく中で、当社を含め、業界のこれからを担ってくれる人材を獲得するためにはイノベーションによる3Kイメージからの脱却が必要です。当社は社長の決断もあって早いタイミングでICT化に移行することができましたが、従来のやり方から抜け出せない同業者も少なくありません。微力ではありますが、施工事例をコツコツと重ねることでICT施工の利便性を地元に広め、普及のお手伝いをしたいと考えています」

そうした専務の言葉を受けて、社長もまた人材の大切さを語ります。「機械がどれほど進化しても人がいないと仕事量は確保できません。会社が力を付けるには、それだけの人材が必要です。若い人々を養成しながら施工力にいつそう磨きをかけ、元請企業さんから直接声を掛けてもらえるような体質の会社になっていくことがこれからの目標です。ICT化によってスキルレス化が進み、運転環境も快適になり、オペレータは女性でも十分務まる仕事になっています。しかし、今の当社にはまだ、個別のトイレや更衣室、休憩室などを現場に準備して、女性を迎え入れるほどの余裕はありません。そういうことも改善して仕事を獲得できるぐらいの力を付けたいと思います」

ICTという翼を得ていち早く時代の風に乗れ、一つ上の会社づくりを目指されているアルバ建設様。社長と専務がタッグを組んで未来にはばたく同社を、キャタピラーはこれからも高品質の製品と最先端のテクノロジーで応援していきます。



く作業することができました。丁張り待ちの時間が不要になって工事が大幅に捗るようになりましたし、3D画像で完成形をあらかじめ頭に入れて作業を行えるので仕事がしやすくなりました。トラックへの積み込み量を『見える化』してくれるペイロード機能も便利です。オペレータとして20年キャリアを積んできた自分にとっても非常にありがたい進化です」

信濃川と阿賀野川に挟まれた位置に本社を置いているアルバ建設様は、水害対策のための河川整備を請け負う機会も多く、河床掘削など目視できない箇所を施工する際にも3D施工の利便さを実感されるとのこと。

さらに、小熊様は、新潟営業所のプロダクトサポートに対しても「皆さんささくで丁寧に対応してくれます。定期点検にも頻りに顔を出してくれるので、コミュニケーションもしっかり取れていますし、以前、機械の不具合が発生し、翌日には稼働しなければならなかったときにも夜遅くまで掛けて直してもらったことがあり、大変助かりました」とうれしいコメントをくださいました。



キャタピラーファイナンス eSignature(電子署名契約)のご紹介

eSignatureは、キャタピラーファイナンスとのお契約をWebサイト上で完結することができる電子署名の仕組みです。これまではお契約の際、複数の書類に署名・捺印の上、郵送していただくなどのご面倒をおかけするケースがありましたが、eSignatureをご利用いただければ、スマートフォンやパソコンからWebサイトへアクセスして数回のクリックだけでお契約手続きを完結させることが可能です。

ご契約が簡単&スピーディーに行えるeSignatureをぜひご利用ください!



eSignatureをご利用のお客様からたくさんのお声をいただいています

思ったよりも早く簡単に契約手続きが行えました

法的に有効だし、セキュリティも2段階認証だから安心できますね

契約書を電子ファイルとしてパソコンに保存・管理できるので便利です

紙の契約書に比べて手間(署名・捺印、郵送など)が掛からず費用も節約できますね

連帯保証人を立てなくても契約手続きができるのでホントに助かります



お客様口座情報サイト MyCatFinancialでも電子署名契約書を閲覧できるように準備中です

eSignatureのご利用に際しての操作方法をわかりやすくご紹介した動画をYouTubeにて配信しています。ぜひ、アクセスしてご覧ください。
<https://youtu.be/bgVXUeWqVXk>



eSignatureのお申し込みについては、担当のセールスマン、キャタピラーファイナンスまでお問い合わせください。

Good Support! Good Work!



車両の定期メンテナンス

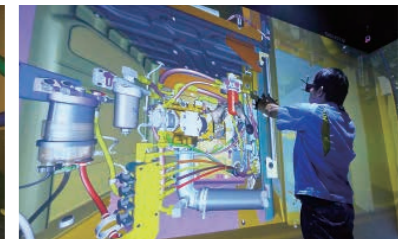
建設機械を長期にわたって安心してお使いいただくためには、定期的なメンテナンスが欠かせません。特に、車両内部の金属摩耗粉や、外部から混入した不純物は、コンポーネントの重大な不具合を引き起こす可能性があるため、オイルやフィルタといった定期交換部品を適切なタイミングで交換することが機械の寿命延長とオペレーティングコストの低減のカギになります。ご購入いただいた機械を大切にいただき、できるだけ長く高性能のままお使いいただけるようキャタピラーは、定期メンテナンスのしやすさにこだわっています。

VR(仮想現実)テクノロジーを駆使してメンテナンス性を追求

キャタピラーの機械は、お客様が安全かつ容易にメンテナンスを行えるよう、設計段階からVR(Virtual Reality: 仮想現実)によるシミュレーションを導入して、定期的に交換が必要な部品の最適配置や点検箇所の集中化など、車両設計の最適化を図っています。



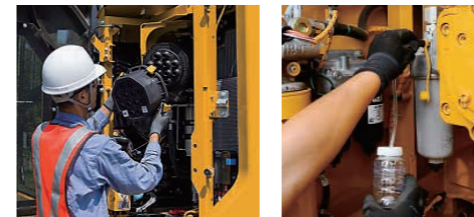
エンジンオイルの排出ポート位置の検証



フィルタ位置の検証

グラウンドレベルメンテナンス

部品の定期交換は、グラウンドレベルから行えるようになっています。また、大型機では、落下事故を防止するための安全バーや手すりを適正な位置に設置するなど、メンテナンスの安全性を徹底的に配慮した設計になっています。



フィルタ交換やオイルサンプリングも地上から安全かつ楽に行えます。

カラーコーディング

建設機械はさまざまな潤滑油、冷却水に加え、最近では尿素水を使用しているため、それぞれの投入口を間違えないようにキャップの色を変えています。さらに、キャップ、または投入口付近には、オイルの種類が識別できるISOシンボルマークを記し、他の液体の投入を防ぐ工夫がなされています。これらのカラーコーディングは、オイル分析用のサンプリングポートにも適用されています。

キャップのカラーコーディングとISOシンボルマーク



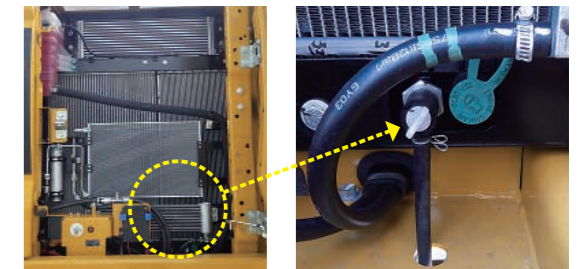
エンジンオイル 油圧オイル 冷却水 尿素水



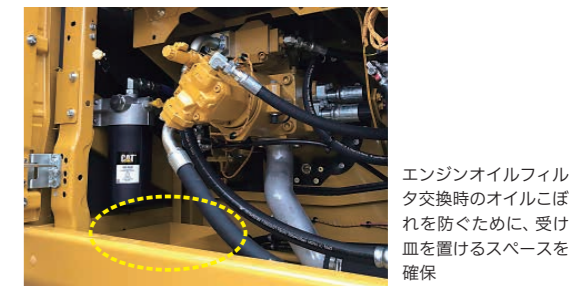
エンジンオイル投入口(右)とエンジンオイルレベルチェック用のディップスティック(左)

オイル、フィルタの交換

オイルやフィルタの交換もグラウンドレベルから行うことが可能です。また、フィルタを交換する際にフィルタ内部に残ったオイルが地上にこぼれないよう、フィルタ下部にオイルの受け皿を置けるスペースを確保したり、オイルの排出が容易に行えるドレインコックやドレインホースを装備するなど、さまざまな工夫を凝らして環境にも配慮した設計になっています。



ラジエータ下部に配置された冷却水ドレインコックと冷却水サンプリングポート



エンジンオイルフィルタ交換時のオイルこぼれを防ぐために、受け皿を置けるスペースを確保

◎定期メンテナンスは、適切な安全防具を着用の上、取扱説明書に記載された要領に従って実施してください。

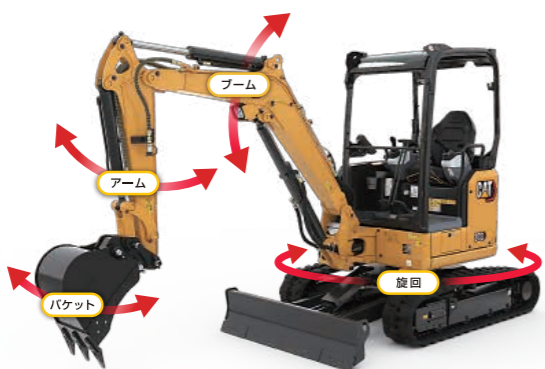
使いやすさを、すべての人に、すべての現場に。 ミニ油圧ショベルCat® 303 CR/303.5 CR/304 CR



	303 CR	303.5 CR	304 CR
機械質量	2,980kg	3,445kg	3,840kg
標準バケット容量	0.09m ³	0.11m ³	0.11m ³
エンジン定格出力	17.6kW	17.6kW	17.6kW

■ “もっと使いやすく” を追求した業界初の新機能

現場や作業に合わせて、ブーム・アーム・バケット・旋回の作業装置スピード、レバー反応速度を3段階に調整できる作業機操作チューニングを搭載。さらに、左手1本で走行操作が可能なスティックステアや、レバー操作なしで走行状態を維持できるクルーズコントロールも標準装備しています。



クルーズコントロール切替ボタン

■ あらゆる現場にフィットする充実の装備

車両の状態や各種設定が一目で把握できるカラー液晶モニターや、整地作業が容易かつスムーズに行えるブレードフロート機能をはじめとする充実装備により、あらゆる現場での運転しやすさ、作業しやすさを追求しています。



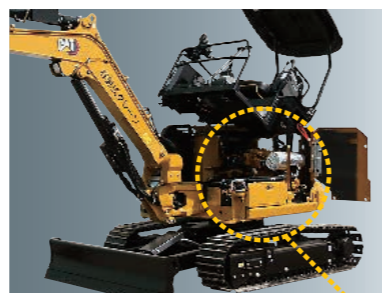
ブレードの自重を利用して整地作業を容易に行うことができます。



警告表示
燃料&水温ゲージ
液晶画面
操作ボタン

■ 機械保有コストを削減

低燃費と優れたメンテナンス性を実現する次世代型の電子制御油圧システムを採用。作動油流量を最適化することで燃費を最大13%低減します(303 CR)。さらに、メンテナンスが容易な新型C1.1T/C1.7エンジン、機体内部に簡単にアクセスできるチルトアップ式の運転席、ワイドオープンのサービスドア&エンジンフード、交換間隔の長い消耗部品により、日常点検や整備などのメンテナンス費用も削減できます。



C1.1Tエンジン
各種コンポーネントの日常点検や整備が簡単。
※掲載写真は海外仕様で国内仕様と一部異なります。



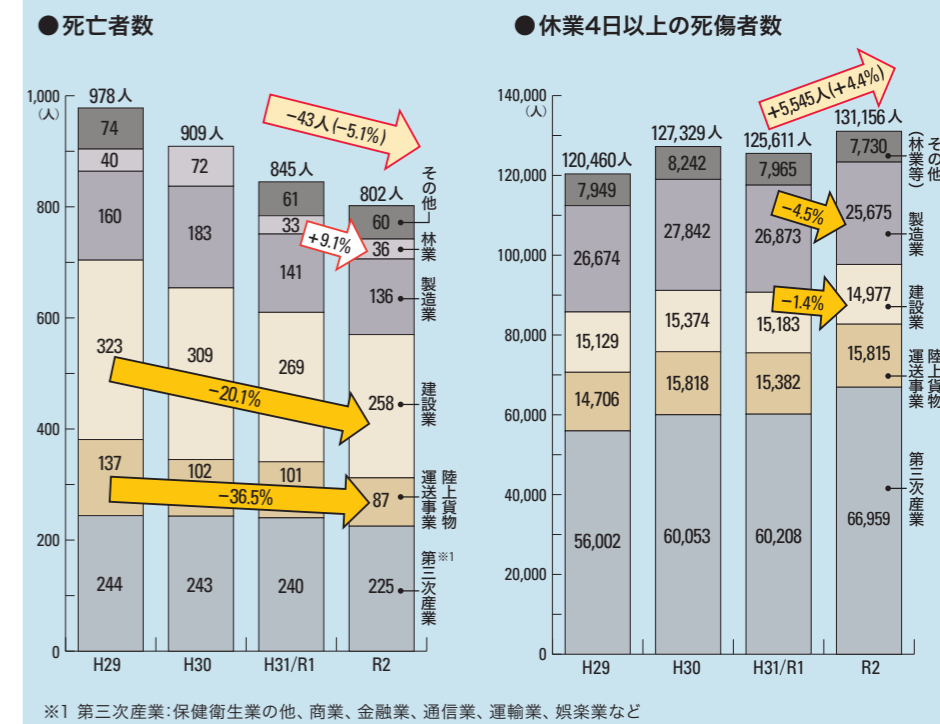
持ってますか?
この資格

令和2年労働災害発生状況の話 その1

残暑が厳しい中、毎日作業に従事されている皆さん、お疲れ様です。皆さんの現場でも日頃からリスクアセスメントをはじめとする安全活動を実施し、事故の発生防止に努められているのではないのでしょうか。その結果、昨年度の労働災害はどうだったのでしょうか。厚生労働省より令和2年の労働災害発生状況が公表されましたのでその内容について見ていくことにしましょう。



令和2年労働災害発生状況 (出典：厚生労働省・死亡災害報告)



と減少傾向(前年比-0.4%)となり、令和3年の増加はCOVID-19感染症による影響が大きいと言わざるを得ません。

平成29年以降、建設業の死亡災害、死傷災害が共に減少傾向となった原因としては、平成27年から「足場特別教育」、平成28年から「ロープ高所特別教育」、さらに平成31年から「フルハーネス特別教育」が施行されたことが大きく影響しています。

これらを含めた教育を受講することによって、労働災害の発生防止を推し進めることができます。キャタピラー教習所では、お客様の安全管理体制の強化のお役に立てるよう、各種の技能講習、特別教育を実施しています。詳しくは、お近くの各教習センターへお問い合わせください。

建設業の死亡災害の発生状況を事故の型別で見ると最多である「墜落・転落」が初めて100人を下回る結果になりました



令和2年1月1日から12月31日に発生した労働災害について令和3年4月7日までに報告があったものを集計したものです



業種別の死亡者数の推移を見ると、建設業、陸上貨物運送事業は、平成29年からの4年間でそれぞれ-20.1%、-36.5%と順調に減少しています。しかし、依然として建設業の割合は全体の約3割と大きいまま推移しています。また、残念ながら対前年比で林業では増加(+9.1%)が見られました。

次に、全産業で休業4日以上の死傷者数(以下「死傷者数」)を見てみると、131,156人と死亡者数とは逆に増加傾向(前年比+4.4%)となりました。業種別では、第三次産業が増加傾向となります。製造業と建設業は減少傾向となっています。

実は上に挙げた死傷者数にはCOVID-19感染症の罹患による6,041人(その内、第三次産業の保健衛生業は4,578人)が含まれています。それを除くと死傷者数は125,115人

◎次回は、事故の型別災害発生状況のご説明と「13次防^{※2}」(期間:平成30年度~令和4年度)の期間中における厚生労働省の取り組みについてご紹介いたします。

※2「13次防」:「第13次労働災害防止計画」。労働災害を減少させるために国や事業者、労働者等が重点的に取り組む事項を定めた中期計画

技能講習・安全教育のご用命はこちらまで /
キャタピラー教習所株式会社

本社:〒253-0111 神奈川県高座郡寒川町一之宮7-11-1
TEL 0467-73-1221 FAX 0467-73-1211
ホームページアドレス <http://cot.jpncat.com>

詳細は

キャタピラー教習所 検索





保護メガネの話

作業中に発生する飛来物、浮遊粉じん、熱、有害光線など、眼はさまざまな危険にさらされています。日常使用している一般の視力矯正用メガネでは、こうした危険から眼を安全にガードすることができません。作業に合った保護メガネを正しく着用し、大切な眼をしっかり守りましょう。



人は外界からの情報の80%以上を視覚によってキャッチしていると言われます。そして眼は、一度損傷を受けると再生が非常に難しい器官であるとも言われます。

眼球の表面積は体全体の表面積に対して0.2%以下に過ぎませんが、眼に関する労働災害の発生率は全体の30%にも及びます。特に建設現場で働く作業員の眼は、砂利、金属片、木片などの飛来物や粉じんをはじめとするさまざまな危険にさらされているため、作業に応じて最適な保護メガネを正しく使用する必要があります。

保護メガネには、遮光保護メガネ、保護メガネ、レーザー用保護メガネがあり、それぞれの使用環境・条件は次の通りになります。

〈保護メガネの種類と使用環境・条件〉

遮光 保護メガネ	紫外放射や赤外放射、強烈な可視光線など、有害光線が発生する作業および場所
保護メガネ	飛来物、浮遊粉じん、薬液飛沫などが発生するおそれのある作業および場所
レーザー用 保護メガネ	レーザー放射が拡散反射する場所、レーザー放射露光を直接受けるおそれのある作業および場所

また、保護メガネを形態別に分けると、一眼型、二眼型の保護メガネ、防じんゴーグルの3タイプがあります。

一眼型保護メガネ	レンズが1枚のプレートになっているタイプ。視界が広く、最近の主流となっています。	
二眼型保護メガネ	レンズが左右に分かれているタイプ。レンズを交換できるタイプが多くなっています。	
防じんゴーグル	顔との密着度が高く、粉じんなどがより入り込みにくいという特徴を持っています。	

防じんゴーグルは、顔にぴったりフィットするため、長時間着用しても疲れにくいというメリットもありますが、使用時には注意が必要です。

①自分の顔に合ったサイズを選びましょう。

ゴーグルと顔の間に隙間があると、十分な防じん効果を得ることができません。

②他の人と共用しない。

1つのゴーグルを複数人で使用すると、フィット感が損なわれる可能性があります。また、感染症予防のためにも共用は避けるようにしてください。

③使用後のケアはしっかりと。

使用後は、砂やホコリ、油脂などが付着していることがあるので、水洗いした後に、柔らかい布などで軽く拭いてください。

砂やホコリが付いたままレンズを拭くと傷を付けることがあります。汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤で洗った後に、しっかり水洗いして拭いてください。



作業時に保護メガネを使用する前には、レンズやフレームに洗っても落ちない汚れ、傷やヒビ割れ、変形などがなければ点検して、異常があれば新品と交換するようにしてください。また、使用後はレンズを固いものに接触させないように柔らかい袋やケースなどに入れて保管してください。レンズ面を下にして置くと、汚れや傷の原因となるのでご注意ください。

※保護メガネの使用に際しては、製品に添付されている取扱説明書などを必ず読み、理解した上で使用してください。

保護メガネはJIS規格により品質要求事項が定められています。必ずJISマークが入った合格品を選ぶようにしましょう。



TOPICS

Cat® CS11GC 土工用振動ローラ

新しいCat CS11GC土工用振動ローラは、ハイレベルのパフォーマンスと快適性、さらに低いオペレーティングコストで、お客様のビジネスをサポートします。



シンプルな操作で安全性を向上

シンプルな車両コントロールが安定した転圧作業をサポートし、安全性を向上させます。また、自動振動機能により停車時の過転圧を防ぎ、均一な締固めを実現します。

高いパフォーマンス

パワフルな転圧力と耐久性を兼ね備えた高信頼のCatポッド型振動システムを搭載。優れた走行性能と相まってご満足いただけるパフォーマンスを発揮します。

メンテナンスの手間やコストを削減

日常点検箇所の集中配置などにより、メンテナンスの容易化を徹底追求。さらに、エンジンオイル、作動油、振動システムオイルなどの交換間隔の延長や、メンテナンスフリー密閉型ヒッチの採用により、メンテナンスコストも最小限に抑えることができます。



PRESENT ご愛読者プレゼント

「CAT CLUB No.113」のご意見、ご感想をお寄せください。抽選で3名様にCatグッズをプレゼントいたします。

次世代油圧ショベル320
1/50 スケールモデル
3名様

ご当選者には、セールスマンが賞品を直接お届けいたします。

お届けの際、賞品の色などが見本と異なる場合がございますが、あらかじめご了承ください。



〈応募要領〉

必要事項を記載いただき、下記メールアドレス宛にご応募ください。

■お名前 ■ご住所 ■連絡先のお電話番号 ■会社名
■「CAT CLUB」へのご意見・ご感想

〈応募先アドレス〉 cat-club-japan@cat.com

〈応募締切〉 2021年11月26日(金)



ご提供いただきました個人情報は、当社の個人情報保護方針に基づき、今後の商品開発・販売促進などに利用させていただきます。当社の個人情報保護方針は、当社ホームページからご覧いただけます。

<https://www.caterpillar.com/ja/legal-notice/dataprivacy.html>

ニッポン生まれの Cat[®] 油圧ショベル 320 / 320GC

320

運転質量：20,900kg

バケット容量：0.8m³

320GC

運転質量：20,600kg

バケット容量：0.8m³

革新的な機能とデザインで現場に新たな風を送り込む兵庫県明石生まれの次世代油圧ショベル。

3Dテクノロジーを標準装備する320は、i-Constructionに対応し、現場の高生産性と低燃費の両立や安全性が向上します。

遠隔操作などの技術で建設DXの先駆けとなるCatのマシン。

進化を続けるCat[®]320/320GCをあなたの現場に。

(*) Cat 320

キャタピラー http://www.cat.com/ja_JP/

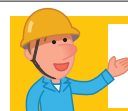
CAT CLUB編集室 〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1

TEL.045-682-3424

CAT CLUBメールアドレス cat-club-japan@cat.com

©2021 Caterpillar. All Rights Reserved. CAT, CATERPILLAR, LET'S DO THE WORK, それらの各ロゴ、"Caterpillar Corporate Yellow", "Power Edge", およびCat "Modern Hex"のトレードドレスは、本書に記載されている企業および製品の識別情報と同様に、Caterpillar社の商標であり、許可なく使用することはできません。記述の内容と仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真には、海外仕様の製品およびオプション装備品が含まれていることがあり、国内仕様と異なる場合があります。

CC-113-0(0921)



CAT CLUB デジタル版も
好評配信中!



この印刷物は、環境にやさしい植物油インキを使用し、水なし印刷を採用しています。
用紙には適切に管理された森林で生産された木材を原料に含むFSC[®]認証用紙を使用しています。